



1 企業へアイデア提言



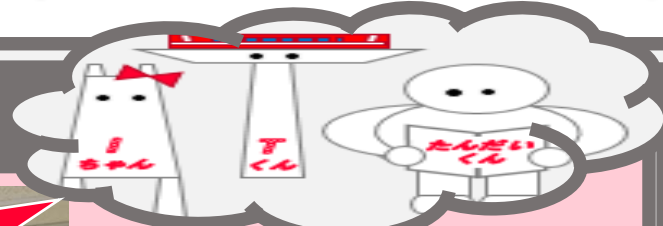
アイデアソン：提案発表会の様子



企業における説明会の様子



企業見学で提示された課題を確認する学生



企業における現場の課題解決に向けて、本学の1年生が検討しアイデアを提案する「アイデアソン」を実施しています。

1月に、学生が企業を訪問し企業から提示された課題の説明を受け、課題解決に向けた検討を行います。

2月22日(水)に、学生が検討した内容を提案発表、企業等の質疑応答が行われました。稲毛陸さん(水戸商高卒)は「グループでじっくり検討し、提案することができました」と話していました。株式会社三友製作所の担当者は「検討内容を、落ち着いて発表していてとても頼もしかった」と話されていました。

<協力企業、県センター>
○茨城県産業技術イノベーションセンター
○株式会社 三友製作所
○金属技術株式会社
○株式会社大貫工業所

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 読売新聞(2023年1月17日)
都市の防災力強化を急ぎたい

◇要約

●作山翔梧さん(多賀高卒)
全国各地で、地震による被害を最小限に食い止めるための取り組みを急ぐ必要がある。大都市が被災すれば影響は甚大だ。ただ、その備えは十分とは言えない。各家庭などでできる対策を考え、防災の意識を高めたい。



◇感想

●山田愛璃さん(土浦三高卒)
家具の固定や食料の備蓄は勿論、当時はあまり普及していなかった情報技術を積極的に活用して防災を進めていく必要があると感じた。

また、2011年に起こった東日本大震災から12年が経過したが、防災への意識は常に持っていなければと再認識した。

●加藤太一さん(勝田工高卒)
今回の記事を読んで、もう二度と東日本大震災のような悲劇は繰り返したくないと感じた。

国や地方自治体をただ頼るだけでなく、IT技術者として人々の暮らしを守ることができるよう、進んで取り組んでいきたい。

●増山すみれさん(水戸商高卒)
私自身が東日本大震災を経験し、震災で様々な建築物が崩れたのを見ている。

今後の防災や減災に、ITが役立つことを再認識した。震災による被害を防ぐためのシステム構築が重要だと思った。

●山田彩乃さん(水戸啓明高卒)
私は東日本大震災を経験し、都市が混乱しているニュースもリアルタイムで見ている。幸いにも県内の都市では大規模な二次被害は起きなかったが、住宅も密集しているので防災意識が大事だと思った。

2 卒業研究発表会プログラム②

3月8日(水)の卒業研究発表プログラムが右表のように発表されました。学生は、研究のまとめや論文作成に追われています。辻 真仁さん(石岡二高卒)は、RFIDを使用した製品梱包管理システムの開発を研究していました。欠品のない納品に役立つと話していました。



論文を説明する辻真仁さん

No.	発表者	発表テーマ
1	小林 広季(潮来高卒)	フレームワークを活用した開発範囲の縮小化と負担の軽減
2	武田 知輝(水戸農高卒)	農作業支援システムの製作～害虫対策～
3	梶田 陸斗(勝田工高卒)	食事管理システムの開発～レシピ管理機能と自己情報管理機能の開発～
4	本田 空(明秀学園高卒)	食事管理システムの開発～チャットボットを利用した提案機能の開発～
5	高橋 香乃(水戸三高卒)	扇風機生産管理システムの開発～従業員・勤怠管理機能～
6	武士 飛龍(水戸啓明高卒)	製造工場の生産管理システムの開発
7	竹貫 晃由(佐和高卒)	農作業支援システムの製作～農薬検索～
8	辻 真仁(石岡二高卒)	RFIDを使用した製品梱包管理システムの開発
9	仲嶋 桃香(常磐大高卒)	扇風機生産管理システムの開発～発注・受入検査機能～
10	中村 幹太(日立北高卒)	情報システムの運用を構成管理から可視化するサービデスクの開発
11	平澤 諒太(佐和高卒)	扇風機生産管理システムの開発～モールド工程管理機能～
12	藤原 大地(勝田高卒)	ねじ製造におけるRFIDを用いた仕掛品の所在管理システムの開発
13	皆川 拓海(東海高卒)	扇風機生産管理システムの開発～部品組立管理機能～
14	代々城雄大(石岡商高卒)	ITILサービスサポートに準拠したICT障害対応プロセスの開発
15	秋山 桃花(水戸三高卒)	農作業支援システムの製作～Androidアプリによる害虫対策～
16	飯島 朋樹(那珂高卒)	SARIMAモデルを用いた新型コロナウイルスの感染者数シミュレーション

